

Shall we BUKATSU ?



明るい曲で
ウォーミングアップ

技も姿勢も
決まりました



冬の夕日の中
練習開始！



細かい指導で
揃っていく演技



バトン部流
ミーティングで締め！

バトン部編

一月二十六日、日差しの暖かい快晴。風も少なく、散歩でもしたくなるような陽気の中、年明け初の取材へ向かう。と、バトン部には既に先客が……。なんと、本物のカメラマンさん方ではないか！流石は我が校のバトン部！と感心しつつ、邪魔になるまいと校舎内へ引き返す。そして、腕章をつけて出直した時には、バトン部の練習が始まっていた。まずは、明るい曲に合わせて各自それぞれ技をこなしていく。ウォーミングアップといったところか。その後は二つのグループに分かれて練習をするようだった。部長を中心とする上級生たちが、ひとりひとりに的確なアドバイスをしながらか基礎の動きを固めていく。すっかり日も暮れ、先ほどの陽気が嘘のように冷たい風が吹く頃、練習は次に控える大会に向けたものになっていた。所々曲を止めながら細かく見て、指摘をする部長の姿は、コーチさながらであった。こういった練習の成果で、初めてあの揃った動きができるのだと感じた。五時四十五分、円陣を組んで今後の予定や反省をした後、本日の部活は終了した。

※ ※ ※

―活動日はいつですか？

A 基本は火水木で、土曜は一ヶ月に二回あります。

―活動内容を教えてください。

A 技の向上や、次の発表に向けての練習をしています。とりあえず、とって明るく楽しくやっています！

―という、近々大会があるのでしょうか？

A はい、三月二十一日に東京でJ・rフェスティバルという大会があります。中学生のみが参加できる大会で、表彰などはないんですが……とても大きな大会です。

―では、今の練習は主にその大会を目指してですね。演技をする際に大切なことはありますか？

A やっぱ、一番は笑顔で踊ることですね！見ている人を楽しませたいので。

―おお、でも、そんな中にも大変なことってありますよね？

A んー……寒い時期はすごく大変です。厚着をすると踊りにくくて、だからといって寒いと体が動きませんし……

―そうですね。私も手が悴んでなかなかシャッターが切れませんでした笑。それでは最後の質問です。ずばり、あなたにとってバトン部とは？

A 私の全てです！と言ったら大袈裟ですが……そのくらい、大切な宝物です。―ありがとうございました。今回は部長さんのバトンに対する気持ちを聞かせていただきました。みなさんも一度見学に行ってみてはいかがでしょうか？